

片岸地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会
議事要旨

記

■開催日時：平成 30 年 12 月 19 日（水） 18 時 00 分～20 時 38 分

■開催場所：片岸集会所

■次第

1. 市長挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
4. 住宅再建に係る補助制度について
5. 片岸公園について
6. 片岸 8 号線の道路改良事業について
7. 集会所及び消防屯所の整備について
8. 鵜住居地区商業施設の整備について
9. 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の進ちょく状況について
10. ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催の取り組みについて
11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
12. 根浜海岸の砂浜再生事業について
13. 国道 45 号電線共同溝工事について
14. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

根浜海岸の砂浜再生事業に関して、片岸海岸から砂を採取すると、片岸の防潮堤が波浪時に被災しやすくなるのではないかと。

回答

新防潮堤は、粘り強い構造でつくっており、さらに新防潮堤と旧防潮堤の間を土で埋めてより安全にします。

また、すべての砂を取り去るのではなく、海面より上の範囲のみを採取しますので、防潮堤への影響はありません。

質問 2

片岸海岸から砂を採取した後の計画はないのか。

回答

現在のところ計画はありません。

質問 3

導流堤について、もっとしっかりしたものを作るという約束をしっかりとしてほしい。

回答

今工事中では仮設の導流堤になっております。恒久的なものに関しては設計を進めておりますが、今回の説明会にはちょっと間に合いませんでしたので、後ほど改めて詳しく説明させていただきます。

質問 4

新防潮堤と旧防潮堤の間の溝に、土砂を投入するというようなことを聞いたのだがどうなのか。

回答

新防潮堤と旧防潮堤の間が死に水になっているため、この部分に土を埋めることで新防

潮堤の前面が厚くなり、より洗掘しにくい強固な構造物になります。

質問 5

写真で見る範囲の旧防潮堤と今の新しい防潮堤の間、この旧防潮堤まで全部埋めるとい
うことは出来ないのか。

回答

写真に写っている範囲は全部埋めます。

質問 6

土砂で埋めたところにスペースが出来るが、そこを将来的に何かに活用するという提案
はないのか。

回答

安全の確保ということで土を埋める事をまず先行したいと思っておりますので、その利用につ
いては別途検討いたしまして、プランができた段階でまた地元の方々にご相談したいと考
えております。

質問 7

片岸海岸から砂を採取した場合、現在見えている砂浜が水面下になって見えなくなるの
か。

回答

平均的な海面の高さを基準に砂を採取しますので、潮位によっては、砂浜は海面下にな
り見えなくなります。

質問 8

片岸海岸の砂を採取した後、何年か後に砂浜は幾らか復元はするだろうから、それで我
慢してくれということなのか。

回答

片岸海岸では、震災後に砂浜が自然に復元した実績があり、今後も砂が戻ってくる可能
性があります。今後、地元からご意見があった際には、現地の状況を見極めながら対応を

検討します。

質問 9

集会所の維持管理費について、地区の世帯数が減少している現状では地域によって余りにも格差があり過ぎる。これはぜひ改善して頂きたい。

回答

被災割合に応じて防犯灯の電気料金等の補助をしておりますが、併せて維持管理費等についても、他の地区も含めて広く議論をしていかなければいけないと考えております。

質問 10

仮設の集会所をそのまま残して頂けないか。

回答

リース会社に交渉はさせていただいたのですが、現実としては基礎工事や各種手続、法的な問題などをクリアしなければ、残すことができないということですので、ご理解をお願いいたします。

質問 11

ここの集会所の場所は津波浸水区域だったが、今後避難する場合こちらを避難場所とするのか、将来的には別の場所につくるのか。

回答

現時点では、高台に新たな施設は非常に厳しい状況です。鶴住居小学校、釜石東中学校、それから南三陸国道事務所も避難場所としてお借りすることが出来ていましたので、早めの避難をしていただく事が大切だと考えております。色々な考えを組み合わせながら避難環境の整備をしていくというのが現時点での考え方になります。

質問 12

誘致企業の事業の状況はどうなっているのか。

回答

誘致企業には事業を継続するのか撤退するのか、年内に意思表示をして欲しいというこ

と、また、継続、撤退にかかわらず未払いの土地代の支払い計画をきちんと立ててくださ
いという話をしております。

12月26日にまた誘致企業と協議をする事になっておりますので、年明け1月以降に地権
者の方々に改めて説明する機会を設けられればと考えております。

質問 13

工業専用地域の開発計画を市としてはどのように考えているのか。

回答

長年の経過を踏まえ、都市計画用途区域の見直しはどうか等の法的なこと、
災害危険区域にしたほうがいいのかということ、または農工法における指定をどのよう
にして外すか、もしくは外さないか等のこと、これらをきちんと考えて対応し、皆さんと一
緒に話し合い、課題解決しながら大きな方向性を見出していければと考えております。

質問 14

国道の東側方面に横断歩道の設置を検討してもらいたい。

回答

横断歩道については基本的に警察で設置するものになっていますが、地域の要望を受け
て、市からも改めて警察及び公安委員会に要望したいと思います。

質問 15

街路灯の整備について、国道沿いが真っ暗で、子どもたちの通学が大変な状況にある。
なんとかして欲しい。

回答

三陸国道事務所としては、基本的には信号のある交差点や横断歩道については必ず設置
しなければいけないということで、すでに設置しております。それ以外に関しては直ちに
対応するというのは難しいところです。

市の街路灯となると、国や県が管理している道路には設置できません。例えば町内会で
管理する防犯灯を設置する方法等もございますので、三陸国道事務所、町内会及び市で協
議しながら最善の方法を考えてまいります。

【野田市長閉会挨拶】

今日は本当に長時間にわたりご協力頂きましてありがとうございました。説明が長くなり、皆さん大分お疲れだと思いますが、その後の意見交換の場では本当に貴重なご意見を頂きました。

たくさんのご意見の中で、まず砂浜につきましては、先ほど説明がありましたけれど、当初は釜石市が根浜の方々、あるいは観光関係者の方々から、ぜひ根浜の砂浜を再生してほしいという要望を受けて、県、あるいは国のほうにお話をさせて頂きました。結果、こうしたところまでたどりつき、いよいよ工事が始まるというところまでできたのですが、一方、短期間で極力経費をかけない方法を検討した結果、こちらの片岸海岸の砂浜を少し頂戴することになってしまい、大変申し訳なく思っております。先ほどいろいろと説明がありましたとおり、砂の採取によって何か問題が生じるということではなく、ちゃんと整理をしながら対応するというところでございます。

ただ、その後どうなるかというのは、やはり採取してみないとわからない部分がありますので、引き続き町内会の皆さんや地域の皆さんと見守りながら、必要なことがあれば市のほうでも対応を考えていきたいと思っております。したがって、大変申し訳ないのですが、砂浜を少しいただくということについては、どうぞご理解をいただければと思います。

それから、避難所の話もございました。これは、片岸だけではなく、どこでもそういう課題がございまして、皆さんが一時的に避難する場所もなかなか確保できないでいました。

これは課題ですから、とりあえず今はいろんな民間の建物を活用したりしているわけですが、お金と時間の余裕があれば、それぞれの地域に避難場所を整備したいのですが、多分これはなかなか難しいことかなと思っております。

ただ、それに代わるものを何とか確保していかなければならないと思っておりますので、引き続きこちらについても地域の皆さんのご理解を頂きながら、見守っていただければと思っております。

それから、誘致企業の問題でございます。これは、このまちづくり協議会を開催するたびに皆さんからご指摘をいただいているところでございます。何とか早く解決したいと思っておりますが、先ほど担当のほうからも話があったとおり、我々も待ってられないというところまで来ましたので、一つ大きなけじめとして、まずは地権者の皆さんに集まって頂き、会社のほうからちゃんと説明をする場をつくると、これを市が取り急ぎやらなければならないと思っております。先程話がありましたとおり、26日に市と会社で協議をして、何とか年明けには説明の場を設けたいと思っておりますので、そこから次の展開を期待したいと思っております。

また、その跡地利用といいますか、それ以外の地域も先ほど用途変更などいろいろ説明がありましたが、いずれそれぞれ所有者がおりますから、一概に市が勝手にどうこうするとは言えませんが、市としても様々な企業を持ってきたと考えております。そのために企業の皆さんと今までもやりとりをしてきておりますが、なかなかこちらのほうに立地をしたいという企業はないものですから、今日ここまでになってしまいました。

ただ、このごろは精密機械などを海沿いでつくるという企業はないのです。物をつくるというのはやはりこういう場所では難しいのです。よく今言われているのは、陸前高田でもそうなのですが、被災地の跡地利用は運動場や野菜の栽培などで今活用されています。その一環としてシイタケをやったのも間違いではなくて、一つの方法としてはよかったと思うのですが、なかなか採算が合わないということがございます。ですから、もう少し我々もその企業をきちんと判断して誘致をしていかなければならない、何でもかんでもいいということではないということは、今回の大きな反省点でございます。

いずれ広大な土地がありますから、引き続き利用について地権者の皆さんと相談しながら活用策を考えていきたいと思っております。決して何もしていないということではございませんで、水面下ではいろんなことをやっているのですが、なかなか結果を出せないでございました。

それから、横断歩道については、先ほど話がありましたとおり、市のほうでは地域から信号を設置して欲しいとか、横断歩道設置してくださいという要望はたくさん受けていて、年に数回警察のほうにお願いをしております。その項目にぜひ今回はここをつけ加えさせて頂きたいと思っておりますので、場所等についてはまた引き続き町内会の皆さんと相談して、あとは三国事務所をはじめ関係団体をお願いして、ぜひ設置を進めていきたいと思っております。

あわせて街路灯でございますが、実はこの間中妻ですね、中妻のほうは、昔は商店街が随分よかったわけです。だから、中妻の商店街の街路灯は、全部商店街の人たちが設置しております。市は一切やっておりません。国道は、国がつくるものですから、国が何か所か設置しておりますが、あとは全部商店街です。ところが、このごろやっぱり商店街もそのとおりでございますが、しかも街路灯が老朽化して、台風が来るたびにいつ倒れるかわからないし処理もう出来なくなったということで、中妻だけ市が応援するというわけにもいかなかったのですが、非常に危険な状況だったものですから、何本か見ながら危険なものの除去は、市がお手伝いしますというところまでいきました。まだ電柱が立っていますから、それを電柱につけ替えるという作業をしているのですが、先ほどの話のとおり、これから電柱がなくなるわけですね。では、電柱がなくなったら誰がどこに街路灯を設置するのだということで、国道事務所のほうでは非常に大事なところだけ設置するというこ

とになりますと、他の箇所に設置する人がいなくなってしまうということになりますので、これは次の課題でした。そこまで我々も考えが追いつかなかったものですから、電柱の地中化はみんなで賛成したわけですが、その後のことをちょっと考えておりませんでした。今新たな課題が出てきたなと思っております。

それから、県道が通る大渡のほうにも商店街はあります。大渡ですから、まちの中心です。なので幾らか商店街はあるのですが、ミッフィー通り、駅からずっと歩いて、魚河岸まで行くようにしたのですが、大渡のほうも街路灯がなくなったということで、市につけてくれと言われたのですが、上に取り付けるのは鉄柱を建てなければならないですからお金がかかるので、歩道のほうに足元を照らす明かりをつけましょうということで、こちらのほうは値段が安いものですから、今そういうことを考えてやっております。

ですから、ちょっと知恵を絞って、この問題は片岸だけではなく、鶴住居もそうですし、これから国道は全部電柱がなくなりますから、今後の大きな課題として捉えていきたいと思っております。ただ、それをやるといつまでたっても暗いままで、待ってられない部分もありますから、とりあえず臨時に何か手当てを考えていかなければならないと思っております。いづれ地域の皆さんの不便にならないように、できるだけ早く進めたいと思っております。

それから、最後は維持管理、これは早急にだという話がありましたが、そのとおりだと思います。先程、議員から、今日何か提案を持ってくるべきだという話がありましたが、まさにそのとおりだと思っております。

先程、担当のほうから説明したとおり、基本的な料金は市で負担しますが、それ以上の部分については、町内会の皆さんに負担を強いるということでございます。ただ、被災地域におきましては、なかなか町内会といいましても、皆さん戻ってくる方々が少しずつですから、そう簡単にはいかないということを考えますと、やはり何らかの支援策を考えていかなければならないと思っております。

被災地だけではなくて、実は他の地区もだんだん高齢化になる、あるいは住民人口が減少して、今までは町内会で賄っていた部分が賄えない地域も出てきております。

ですから、この問題はここの地区だけではないのです。釜石全体の課題ですので、その辺皆さんが納得するにはどうしたらいいのかを考えさせて頂きたいと思っております。

今まで考えたことは、公平にしていかななくてはならないので、片岸だけ特段何かするというわけではなくどこでも同じように、みんながそのことで恩恵を受けるような制度をつくっていききたいと思っておりますので、もうちょっと時間を頂きたいと思いますが、いづれ来年の当初予算あたりには計上できるようにしたいと思っております。今考えておりますのは、ふるさと納税やいろんな寄附金などをいただいておりますので、そのある一定金額

をそういったものに回すと、その金額の中でそれぞれ割り振りをしながらやるということが一番いいのかなど。そうしますと、このぐらいの金額でみんなで行っているというのが見えますので、そんなことを考えたりしております。いずれ町内会の活動、そしてまたさまざまなグループ活動、これは釜石にとりましても本当に大事なことでございますので、高齢者の皆さんに頑張ってもらわないと、釜石は成り立っていきませんから、ぜひ皆さんのご協力をいただければと思っております。

今日頂きましたさまざまなご意見につきましては、もう一回精査しながら、ぜひみなさんの意向に沿うように進めさせて頂きたいと、こう思っておりますので、よろしく願いしたいと思えます。

改めて、今日は本当にいろんなご意見を頂きました。長時間にわたりましてご協力頂き、心から御礼を申し上げます。また次回よろしく願いいたします。ありがとうございました。